

令和4年度 自己評価・学校関係者評価

1 教育目標 たくましく やさしい子

2 本年度の重点目標 『自分で考えて行動する子』

0歳児…保育者との信頼関係を築き、生活リズムをつかむ

1歳児…探索活動を十分に経験し、楽しく遊ぶ

2歳児…友だちの遊びに関心をもち、自ら進んで遊ぼうとする

満3歳児…喜んで登園する

年少…喜んで登園し、保育者や友だちと楽しく遊ぶ

年中…遊びや活動を友だちと一緒に進める楽しさを味わう

年長…自分で考えたり、友だちと力を合わせて意欲的に園生活を送る

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価点 A 十分に成果があった、B 成果があった、C 少し成果があった、D 成果がなかった

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員	
	評価点	こども園の取り組みと改善策	評価点	評価・意見
指導計画の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳から5歳の卒園までを見通し、計画を立てている。毎年1年が終わったところで、見直し反省を行い次年度に繋げている。 ・子どもたちの日々の様子を見ながら、日案・週案・月案をたて子どもたちのより良い発達を促すようしている。 ・コロナウイルス感染症の対策を行いつつ、子どもたちが様々な経験が出来るように計画してきた。次年度も安全対策をしながら、いろいろな経験の場を設けていきたい。 	A	<p>○計画が保護者にしっかり伝わっているのかと思う部分はあるが、実質教育目標を全保護者が目を通していいのかと思う部分はある。しかし、職員の評価が皆さんよかったので見通しを立てて、計画されていると思う。</p> <p>○今後コロナはまだあるので、柔軟に計画を立ててほしいと思う。</p>

保育内容	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「五領域」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、発達段階を考慮し、指導計画に則り保育内容を決めている。 ・子どもたちが、興味関心を持って取り組んで行ける保育内容を、これからも全職員で考えていきたい。 	A	○こども園になったことでの人間関係の育ちが、制限が多い中で考慮し努力して下さっている。
保育環境	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が子どもにとって一番身近な環境であるということを常に念頭において、保育していきたい。 ・クラスを飾り立てることだけが環境ではなく、かえって刺激となってしまう子もいるので、最小限の壁面飾り等で季節を感じられるようにこれからも工夫していきたい。 	A	○新しい園舎・園庭が保育環境として、とてもいい環境になっていると思う。
保育記録の作成	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日 保育日誌を記入し、乳児部は「れんらくノート」も記入して記録を残している。出来る出来ない記録ではなく、子ども一人ひとりの成長が分かる記録の書き方を心掛けていきたい。 	A	○ひとりひとりの子どもの保育記録を残していく事が、園の成長を残していけると思う。その反面、先生方の負担にならないようにして頂きたいと思う。
情緒の安定	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な家庭環境や性格の子がいるので、一人ひとりに寄り添い楽しく園生活を送っていけるように、きめ細かい保育をこれからも心掛けていきたい。 	A	○今後も、きめ細かい保育をお願いします。

健康管理と安全管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、出席確認をしながら一人ひとりの視診を行い、子どもたちの体調管理に気を付けた。コロナ等の感染症が流行っている時には、園医と相談し休園等の措置をとった。また、保護者に感染状況などの情報を流し注意喚起を促した。 ・バス置き去り事件を機に、バス乗車マニュアルを改めて作成し、安全管理に努めている。 お散歩マップの作製や戸外活動記録をつけるようにした。 ・ヒヤリハット事案は記録をとり、職員で共有し再発防止に努めている。 	B	<p>○コロナ・胃腸炎等の感染症に対して、適切に対処して頂けたと思う。</p> <p>○バスに関しても、人数の把握・置き去り等の確認、また消毒等徹底して下さっていたと思う。</p> <p>○お散歩等の活動記録も負担にならないようにして頂きたい。</p> <p>○正門のロック管理に関しては、再度見直しをお願いしたい。</p>
保護者への対応	B	<ul style="list-style-type: none"> ・常に笑顔で保護者に対応するように心掛けている。 ・保護者からの意見等は、園長や主幹等に報告し、園全体として関わっていくようにしている。 ・コロナのため、保護者には来園していただく機会が少なくなってしまった。その分、おたよりやホームページで園の様子を知らせている。今後も続けていきたい。 	B	<p>○先生方皆さんが、いつも笑顔で接して下さっている。</p> <p>○今後、対面で保護者と話をする機会が増えるようにしてほしいと思う。</p>

<p>保育者として</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も新しい職員を迎え保育を行ってきた。それぞれの職員が各々の良さを発揮し、意見を交わし合う中でお互いを認め合い、お互いに高め合える繋がりを目指していきたい。 	<p>B</p> <p>○職員全員が集まるのが難しい中、連絡方法など工夫して下さっている。</p> <p>○はなしこども園として、同じ方向を向いていけるようにお願いしたい。</p>
<p>特別な支援を必要とする子への対応</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「気になる子」が多くなっているため園内でも話し合いを重ね、他機関の力も借りて慎重に引き続き対処していきたい。 ・乳児部にも支援が必要な子がいるため、いろいろな機関と連携を取り指示を仰ぎ、保育を進めていきたい。また、保護者への丁寧な対応にも、引き続き努めていきたい。 	<p>A</p> <p>○室内装飾等も、支援が必要な子に配慮して今後も続けていってほしい。</p> <p>○今後も進んで、他機関との連携をとって頂きたいと思う。</p>
<p>保護者アンケート</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メールで、提出を促したところとても良い回収率となった。 回収率 93% ・提出していただいたアンケートは、職員で回覧し自分たちの保育を反省していきたい。 	<p>A</p> <p>○将来的に、メールでのアンケート回答があってもいいかもしれない。(無記名で)</p>

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
子どものかかわり	全国保育士会作成の「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」などを利用し、定期的に自分の保育（特に子どもへの言葉掛けや接し方）を確認する機会を設けていく。
保育について	こども園に移行して2年目が終わり、こども園とはどういうものか少しずつわかってきたように思う。 みんなで同じ方向を向いて保育をしてきているつもりだが、原点に立ち返り話し合いの場を設け、「保育」の見直しをしていきたい。
ウイズ コロナ	子どもたちと職員の安全を第一に考えながら、コロナで自粛せざるを得なかった行事等を見直し、子どもたちにたくさんの楽しい経験をさせたい。
職員の業務 負担軽減	こども園になり保育時間が長くなり、職員の拘束時間や日々の仕事量が増えている。園で出来なかったことは、持ち帰りとなってしまふ。1日の保育の振り返りをしながら保育日誌を書くことや、翌日の教材準備等必要不可欠なことも、効率よく行えるよう業務の見直しをしていきたい。

令和5年 3月 1日

学校法人葉梨学園 葉梨こども園
園長 篠宮 けい子
学校法人葉梨学園 葉梨こども園
学校関係者評価委員

山田美穂子

